

かみお

神尾たかよし NEWS

令和2年
7月15日
75号

県政報告

埼玉県議会自由民主党議員団 副団長

前埼玉県議会議長(第122代)

埼玉県 監査委員

令和2年度 ●特別委員会/自然再生・循環社会対策特別委員会
所属委員会 ●常任委員会/警察危機管理防災委員会



6月定例会

新型コロナ“第2波”に備え、過去最大の補正予算 一般会計補正予算 1,591億 8,554万円を議決!!

令和2年6月定例会は、6月15日から7月3日にかけて開催し、主に新型コロナウイルス感染症拡大防止策と第2波への備えを盛り込んだ一般会計補正予算【第5号】107億4,118万1千円及び【第6号】1,484億4,435万9千円』の計上などを議決しました。(令和2年度一般会計累計額は2兆1,770億3,002万6千円。)

その内訳は、【第5号】補正予算は、中小企業に対する支援として、「新型コロナウイルス感染症対応資金」及び「経営安定資金」融資枠を拡大するために56億2,690万円、子供たちの学びの機会を確保するため、県立学校のICT環境の早期整備のために9億3,192万9,000円が計上されました。【第6号】補正予算は、6月12日に成立した国の第2次補正予算に対応したもので、県内の中小企業や個人事業主が対象の家賃支援として約120

億2,354万円等が盛り込まれています。

さらに6月定例会では、本会議場での3密を防ぐため、採決時以外は出席議員を3分の2とし、3分の1の議員は別室で審議をする体制とした他、私たち自民党県議団が提案した、県の新型コロナウイルス対策を検証するための特別委員会(定数18名)の設置を決めています。自由民主党議員団 副団長としてあいさつ



自民党コロナウイルス感染症対策本部



県議会6月定例会補正予算【第5号】【第6号】の主な事業

事業名	金額(千円)	事業概要
中小企業・個人事業主に対する家賃への支援(産業労働部)	12,023,547 6号補正予算	厳しい経営状況に置かれている県内中小企業や個人事業主等に家賃支援金を支給。(賃借人・賃貸人に支援)
中小企業に対する資金繰り支援(産業労働部)	5,626,900 5号補正予算	県制度融資枠(新型コロナウイルス感染症対応資金と経営安定資金)を拡大。
緊急小口資金等の特例貸付の実施(福祉部)	13,667,941 6号補正予算	緊急小口資金等の特例貸付を継続するために必要な貸付原資を補助。
介護・障害福祉サービス等に対する感染症対策・再開支援(福祉部)	29,715,945 6号補正予算	介護・障害福祉サービス等を提供する事業者の感染症対策やサービス再開に向けた経費を補助。またサービス継続に従事した職員に慰労金を支給。
検査体制の強化(保健医療部)	1,455,276 5号補正予算 80,839,406 6号補正予算	抗原検査の保険適用承認に伴う公費負担、PCR検査の民間委託及び民間検査機関のPCR検査機器整備への助成、発熱外来PCRセンターの検査体制の拡充、医療機関等への感染防護具等の追加配布、入院医療機関の病床確保等への支援、医療機関・薬局等の感染防止対策、医療従事者等への慰労金の支給等。
妊産婦への総合的な支援(保健医療部)	830,982 6号補正予算	妊産婦への寄添い型支援、分娩前PCR検査費用の助成、PCR検査を実施する産科医療機関の設備整備への助成等。
市長村事業への助成(保健医療部)	1,045,000 5号補正予算 1,045,000 6号補正予算	国からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し市町村が実施する感染拡大防止や医療体制の整備等へ助成【第5号】及び、負担率が国10/10に拡大されたことに伴う増額。【第6号】
学校教育総合支援事業(教育局)	101,472 5号補正予算 1,971,200 6号補正予算	臨時休校に伴う学習の遅れを解消するため、学習指導員を配置する市町村へ補助を実施。



深谷市・美里町・寄居町のために全力投球!

ホームページ kamiotakayoshi.com

埼玉県議会自由民主党県政調査事務所

神尾たかよし事務所

県議会畜産振興議員連盟会長として全力投球!

埼玉県の農業・畜産業を守る!

畜産振興対策事業の補正予算に

6億4,245万円

新型コロナウイルス感染に伴う消費の落ち込みや、外食産業での需要低下などで価格が下落している県産和牛肉等について、学校給食で使用することを希望する学校へ提供することで、埼玉県産和牛などの生産農家の皆さんを支援することになりました。

事業内容

- ・給食実施希望校に対し、食育教材と共に和牛肉等を提供。
- ・事業実施主体は、肉牛生産者団体や食肉を販売する業者団体等から構成される学校給食用牛肉供給協議会(仮称、新たに発足)とする予定です。

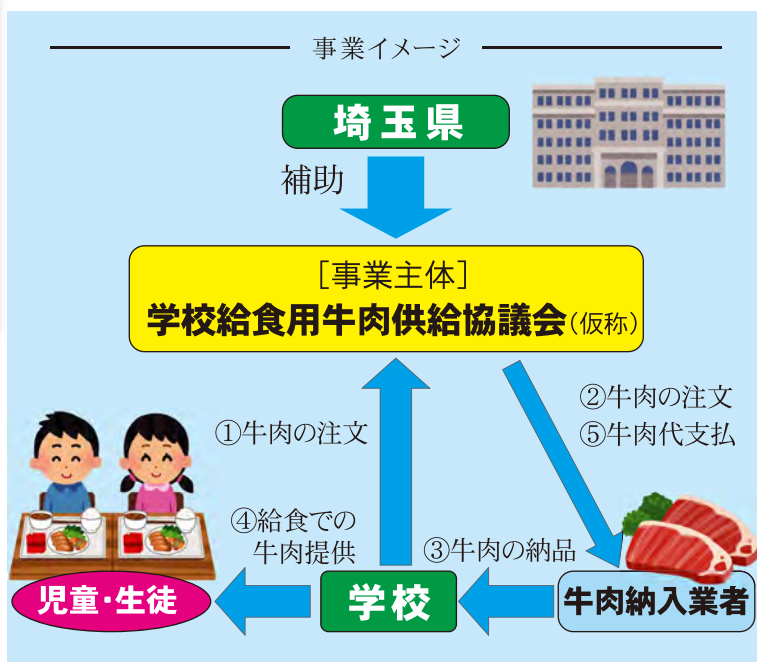


学校給食への和牛肉等提供内容

- (1)実施内容:和牛肉等県産牛肉を1人1回100g以内使用する。
年間3回を上限に食育教材と共に提供します。
- (2)対象:希望校 569校
予定実人数 23万1,749人
予定回数 平均2.7回/年
- (3)補助単価:100gあたり1,000円(定額)(国庫10/10)



地元武州和牛組合の皆さんより切実な要望をいただきました。



CSF(豚コレラ)対策事業の補正予算に 1,526万円

昨年埼玉県内でも発生したCSF(豚熱)対策として、畜産関係施設におけるバイオセキュリティ向上のために必要な施設整備を支援し、主な感染ルートとされる野生いのししの検査を促進することにより、CSFの発生防止を図ります。CSFの感染予防・まん延防止などの措置を的確に講じ、県内養豚業者などをはじめ県民の皆さまの不安の解消に全力を挙げてまいります。

県産農産物販売促進 緊急対策事業の補正予算に

9,309万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの中止や外出・営業の自粛が要請されたため、花きや茶、和牛農家を中心に、売上が大きく落ち込んでいる。このため、インターネットを活用した販売を支援するとともに、飲食店向けの出荷ルートを回復、拡大させるために県産農産物キャンペーンを実施します。

事業内容

- (1) ネット販売支援事業4,666.3万円
ECサイトの立ち上げやビジネス展開に関する研修会を実施し、さらに各農園のECサイトの改善アドバイスを実施する。併せて、ECサイトでの購入に対する割引キャンペーンの実施により、消費喚起を促し、県産農産物の販売促進を図る。
- (2) 埼玉県産農産物緊急応援キャンペーン事業 4,642.3万円
県内の飲食店等を対象に、県産農産物の購入費、割引券発行費用、花の購入費用を支援することで、県産農産物の利用拡大を図る。

埼玉県産牛乳消費拡大キャンペーン

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国的に学校給食や外食産業における牛乳や乳製品の需要が低下しています。埼玉県では、6月の「牛乳月間」に合わせて、埼玉県産牛乳の消費拡大キャンペーンを実施しました。



県内の乳業向上で生産された牛乳・乳製品応援キャンペーン

<p>大沢牛乳(株) 鴻巣市</p> <p>昔ながらの製法にこだわった風味豊かな牛乳です。</p>	<p>西武酪農乳業(株) 日高市</p> <p>ふるさと埼玉で育まれた美味しい牛乳を安心・安全にお届けします。</p>
<p>(有)戸田乳業 小鹿野町</p> <p>ちちぶ路の豊かな自然で育まれた自然豊かな甘みをお届けします。</p>	<p>森乳業(株) 行田市</p> <p>学校給食でお馴染みのわたほく牛乳と同じパッケージです。</p>

学校給食用牛乳の無償提供

JA全農さいたま・埼玉県牛乳普及協会より提供をいただき、5月20日~6月14日、県内子ども食堂(11箇所1万8,700本)フードパントリー(3箇所1,640本)などへ無償提供いたしました。